

水産物来週の見通し（8/17～8/20）

【鮮魚の概要】

高級はブリが増加傾向にある。
近海はオホーツク方面で白サケが予定より早く水揚げ開始。
大口はホッケが水揚げ減少、スルメイカは安定傾向。

【主要品目】

鮮マグロ⇒養殖本マグロ主体の入荷だが、天然本マグロの北海道産、青森県産は少量の入荷予定あり。

ホタテ ⇒オホーツク中心の水揚げになり水揚げ量は少しずつ減少。海外向けの引き合いが強く、相
当な高値予想。

ホッキ ⇒胆振が再開。道東も始まり、入荷は増える予定。

ウニ ⇒北海道産の入荷もあり、価格高騰傾向。

貝ツブ ⇒厚岸が終了。岡つぶ、Aつぶ、根室は少量で、価格は高騰。

キンキ ⇒輸出サイズ、値段ともに下げ傾向。日高、襟裳の小キンキは横ばい。

ヒラメ ⇒日本海方面、水揚げ減少、価格は高騰。

毛ガニ ⇒太平洋産の水揚げ少量で、価格は高値予想。

カレイ ⇒マガレイはオホーツク中心で、水揚げ少なめ、価格は不安定。
黒ガレイは道東、オホーツクでの水揚げ。水揚げは不安定で、価格は上げ傾向。

いか ⇒マイカは山形、青森、新潟、金沢、北海道・桧山、岩内、積丹、吉岡、福島他水揚げで22000
～27000 ケースほど。価格は道内・道外ともに下げ傾向。

アサリ ⇒7月15日～8月30日まで禁漁期間となるため、数量が減少。価格は高騰する見込み。

エビ ⇒ぼたんえびは日本海、礼文島からの入荷。数量は少なめ。浜高傾向。
南蛮えびも水揚げ減少傾向、冷凍相場と金沢禁漁のため浜高傾向。入荷少なめ。